

循環器内科後期研修プログラム

<目的>

内科医および循環器専門医の養成を目的とする。当院第二内科で研修することにより、内科系疾患、特に循環器系疾患の診療に必要な幅広い臨床能力と技能を修得します。本コースを選択することにより、日本内科学会認定内科医の受験資格が得られます。また、日本循環器学会専門医の研修期間の必要年数に加算されます。

<研修期間>

1～2年間

<研修目標>

内科医および循環器専門医として、内科系疾患、特に循環器系疾患の診療に対応できる能力を身に付けることを目標とする。そのため、必要な知識と実技を習得し、積極的に学術研究発表を行う。

知識習得：

内科全般に共通する病歴聴取、身体所見の取り方、診断へのアプローチ、治療法に関する知識を深める。

さらに、循環器系疾患に関する検査法（血液検査、各種画像診断、心カテーテル検査、安静時および負荷心電図、ホルター心電図など）の読影力・診断力を高めるとともに、循環器疾患の内科的治療（生活習慣の是正、食事療法、運動療法、薬物療法、非薬物療法、心臓リハビリテーション、輸液・輸血療法、その他）につき理解と知識を深める。

技能習得：

技能的には、基本手技（採血、血管確保、気道確保、検痰、検尿、胸部 X 線撮影、心臓超音波検査）を自分のみで実施できることと、基本的な検査結果を解釈できることを目標とする。特に、循環器系疾患については下記の技能習得を目標とする。

輸液・輸血療法を安全かつ確実に実施できる。

負荷心電図を安全かつ確実に実施できる。

心カテーテル検査を安全に実施できる。

心臓リハビリテーションを安全に実施できる。

循環器系疾患の診断に必要な画像診断検査（心臓核医学検査、経食道心エコー、3D-CT など）を実施できる。

学術研究発表：

年 1 回以上、受け持ち症例の報告を積極的に行い、最終的に日本内科学会認定内科医の資格を取得することを目標とする。